

例年、秋から冬にかけて流行

RSウイルス感染症

症状

発熱，鼻水，せきなどが主な症状です。

2歳までにほぼ全員の乳幼児がRSウイルスに感染しますが，特に生後数週間～数箇月で感染すると，肺炎など重症化することがあります。

感染経路

感染者のせきやくしゃみのしぶきを直接吸い込んだり，手指を介して口に入ること
で感染します。

予防方法

石けんと流水でしっかり手を洗い
ましょう！

詳細は衛生環境研究所のホームページで紹介していますので，
ぜひ御覧ください。



気になる症状があれば，早めに医療機関を受診してください。



平成28年10月号

◆感染症に関するお問合せ

- お近くの保健センター（健康づくり推進課）
- 京都市保健福祉局 保健医療課

（TEL:075-222-4244 FAX:075-222-3416）

◆発行元 京都市衛生環境研究所 管理課

（TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232）

※衛生環境研究所ホームページからも御覧になれます。

